

we design your home and life style. impression for life, to you.

そこは、住宅街のなかの森のようでした。
美しいのにとっても自然な庭でした。

beus-made
Sさま邸の
初夏

薔薇の次には紫陽花が咲く。

『園芸家12か月』という、カレル・チャペックの名著のなかに、園芸とは「やむにやまれぬ一つの情熱だ」というフレーズがあります。きっとそうなのでしょう。その美しい庭のオーナーS夫人は、チェーンソーで枝を切り、ラティスのベ

ンキを塗り、雑草を抜き、土をいじり、自らの手で庭を育てています。「季節ごとに、次から次へと芽吹くように植えてあるの。薔薇は60種、紫陽花は13株。あとは、何種類の植物があるかわからないわね」と、Sさまは微笑みます。



Love Plants

Living with Green

その人は緑と暮らしていました



ワインの熟成樽にポンプを付けた雨水タンク

こぼれ種には目こぼしする。

愛犬たちが駆けまわるSさまの庭。植物ものびのびとしています。こぼれ種から育つものもあるそうです。「植えていないのに、ある日、花が咲いているの。そのまま咲かせておきます」。だからきっと、Sさまの庭は、手入れがゆきとどいているのに自然体なのでしょう。



部屋と観葉植物とわたし。

家のなかに“庭”をつくる春夏秋冬、いつも傍らに

観葉植物や多肉植物、ドライフラワーにしても楽しめる花は、生活にうるおいを与えてくれます。飾るときのポイントは3つ。

- ① 大きさ：植木鉢サイズ10号（直径30cm）以上なら1部屋1つ。小ぶりのものは、スツールに置いて高さを出すと見栄えがします。小さいものは数で勝負。
- ② 形：枝が広がるものは、どんな部屋にも合います。まっすぐな木はモダンな家、アイビーやエアプランツのような吊るすタイプはインターデコハウスにぴったり。
- ③ 器：おすすめはモルタル。部屋やインテリアになじみやすく、おしゃれに見えます。



植物が仲立ちするコミュニケーション。

Sさまは、植物について独学で学びました。同じ「園芸家」に教わることもあるのだとか。「家の前を通った人が、庭を見て話しかけてくるの。この葡萄は2房くらい残して実を取ったほうがいいとか、アドバイスしてくれるんですよ」。そのコミュニケーションが楽しいといいます。



「昔からガーデンカフェに憧れていました」とS夫人



ようこそ、beusな店へ

特集 連動企画

たいせつな人に、ときどき自分に、贈りたくなる花に出会える花屋。

flower & green Lucca - ルッカ -

オープンして5年目のLucca。オーナーの齊藤雄太さんは、「花が華やかなので、壁の色は暗めでもいいかと思って。“ルッカグレー”と呼んでいます、いい色ですよ」と話す。ルッカグレーは、たいせつに使い込まれた作業カウンターから生まれた色だ。齊藤さんは、偶然に見つけて気に入ったカウンターに合う店づくりをしたいと考えたという。その思いを受けて、設計を担当した森山操は店舗をデザインしていった。たしかに、その壁には、色とりどりの花と植物がよく映える。

こちらのメインは、ギフトのための切り花。贈り物の花束をつくってもらくと、なぜか自分のためにもほしくなる。「花のアレンジに正解はありません。でも、自宅に飾るなら、3本・3種類・三角形というように“3”にこだわると、美しく見えますよ」と、プロの技を惜しみなく教えてくれた。

SHOP DATA



flower & green Lucca (ルッカ)

神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-46

0466-90-4922

www.lucca87.com info@lucca87.com

営業時間/10:00~19:00 定休日/木曜

駐車場/4台(提携駐車場)

■ CONSTRUCTION

ブランド: ビーメゾン 施工: 2011年12月



ハコダテノ建テモノ

hakodate architecture spot

“亀八”の始まりは室町時代。 旧拝殿には戊辰戦争の弾痕が残る。

建造物を愛する建築士が、函館の建物をマニアックに調査する！
今回は「亀田八幡宮」、お話しは権瀬宜(ごんねぎ)の佐々木延記さんです。

建築様式を教えてください。

神社の建物は本来、本殿(神様がいらっしゃる建物)、幣殿(供物をお供えする建物)、拝殿(祭祀や参拝のための建物)という三つの社殿から成ります。でも、さまざまな理由によって一棟ずつ独立していないこともある。いずれにしても、建築様式とは本殿の造りをいいます。亀田八幡宮は、幣殿と拝殿が一緒になったタイプで、本殿の造りは流造(ながれづくり)です。社殿の表側だけ、庇(ひさし)が流れるように伸びている屋根に特徴があります。屋根の形はもともと、祀る神様によって決まっています。しかし、その土地の気候に合わせて変化していますし、時代ごとの特徴もありますね。

誰の設計で、いつ建てられたのでしょうか？

設計者はわかりませんが、現在の本殿と拝殿は、昭和38年、宮大工の長谷川組によって建てられました。津軽のヒバ材が使われ、屋根は銅板です。式年造替(一定の周期で社殿を改修する儀式)はありませんが、必要に応じて補修をしています。亀田八幡宮の由緒は、室町時代にまでさかのぼります。明徳元(1390)年、現在の福井県敦賀市にある氣比神宮より、分霊されたことが始まり。祀っている神様は誉田別命(ほんだわけのみこと)、第15代天皇の応神天皇です。拝殿に向かって右手側にあるのが旧拝殿。江戸時代末期の文久3(1868)年に建てられた、現存する函館最古の建物といわれています。いまは、神輿殿となりました。

亀田八幡宮

戊辰戦争の終結の地とされ、「箱館戦争降伏式之地」の碑がある。旧拝殿にて、旧幕府軍は新政府軍と誓約書を交わし、翌日に五稜郭を開城したという。■アクセス/函館バス・宮前町下車、徒歩5分



1. 参道から見た現在の拝殿 2. 裏手から見た本殿。「流造」の庇に続いて見えるのが拝殿 3. 拝殿の内部。筋交いがない代わりに太い柱と梁を支えられ、地震の揺れを吸収すると考えられる。天井には、「松前神楽」の奉納で放たれた矢が刺さる 4. 旧拝殿の見どころは見事な彫刻。雲と波は、陰陽(天と地)を表す 5. 旧拝殿の壁板には戊辰戦争のときの銃弾の痕が残る 6. 旧拝殿の「飛龍」。空を飛ぶという龍のこども



my sweet house

owner's interview

vol.5

owner
Nさま

改装はパーティーのために。 みんなが集まりたくなる家

パーティールームと ゲストルームの誕生。

神奈川県海のまちにあるNさま邸。2010年にリノベーションした1階部分は、もとはご両親の居住空間でした。キッチン・リビング・寝室だったところの仕切りをなくして、大きなパーティールームをつくりました。「友人知人がよく集まる、もともとお客さまの多い家でした。1階を空けたままにしておいても仕方ないので、思い切って改装したのです」と奥さま。インテリアとしても美しいピアノを奏でることも、ときどきあるといいます。また、お客さまが宿泊できるように、ゲストルームとシャワールーム、バスルームも用意しています。

いつもの通り道での アンティークとの出会い。

奥さまとピアスとの出会いは、インテリアショップ「アンティーク」。店の前をよく通ることもあり、気になっていたそうです。思い切って店の扉を開けたときは、家を改装するなどとはまるで考えていませんでした。そこでリノベーションのパンフレットをたまたま目にして、相談してみたそうです。そうこうしながら、壁や床のサンプルを見ているうちに、リフォームしたいという気持ちになったのだとか。奥さまの理想だったキッチンの壁や、こだわった床、庭にあるガーデンシンクのタイルなど、素材も見どころのNさま邸です。



オールステンレスの キッチンの魅惑。

優雅なパーティールームは、キッチンから始まりました。装飾のまるでないオールステンレスのキッチンを見ても、奥さまは、ひとめぼれしたそうです。壁は、外壁に使われるレンガのタイルにしました。打ち合わせのとき、雑誌で見て気に入っていたイタリアのピザ屋のイメージを担当者に伝えたといいいます。「色やディテールは違うけれど、この家に合うようにアレンジして、イメージどおりに仕上げてくれました」。このキッチンが、みんなでわいわいと料理をつくる楽しさを盛り上げています。

建築士・森山操から見たNさま邸



奥さまとお会いして、 イメージが命を持ちました。

Nさまにお会いした瞬間、営業担当から聞いていたご希望のイメージが具体的になりました。私の頭のなかで、はっきりと輪郭をもった感じでした。奥さまのアイデアで感動したのは、キッチンのレイアウト。「ステンレスとアイランドキッチン間にテーブルを置きたい」と聞いたとき、最初は動線が悪くなるかと心配しました。でも、それは日常生活での料理のシーンを考えた場合のこと。パーティーのときなら、このテーブルが活きてくるんですよ。体験的に感じている「あったらいいな」という希望があったら、まずは聞かせてくださいね。



1.パーティールームには最大で20名ほどが集まれる。テーブルはドイツ軍払い下げのもの 2.民族楽器などの音楽関連アイテムも部屋に彩りをそえる 3.ゲストルームの棚は追加で大工さんにつくってもらった 4.床は同じ材料で統一した。床暖房だから冬も温かい 5.イギリス製アンティークのキャビネット。透明のスタンドグラスに特徴がある 6.庭のランダムストーンは、ミントの葉の化石が混ざった「ミントミックス」という貴重なものを使用 7.奥さまのアイデアでキッチンの真ん中に配されたテーブル

今回のsweet houseは

b-maison <ビーメゾン>

アンティークの家具や使いなれた道具、お気に入りの小物を、ずっとそこにあったかのように存在させ、家族が集い、時を重ね、暮らす、やさしい時間に包まれる空間をつくります。



beus news

ビラス新社屋ついに Debut!

函館に北海道新幹線がやってきた3月26日、わが社の歴史に新たな1ページが刻まれました。そう、できたてほやほやの社屋での業務が始まったのです。建物そのものが私たちの作品。だから、館内は見どころにあふれています。玄関を入ると目を引くのが、レンガの壁とスチールの手すりの階段。階段のステップと床にはエイジング加工が施され、落ち着きある雰囲気です。2階に上がると、天井まで伸びる古材の壁が出迎えてくれます。これがまた、ビラスらしくていいのです。1階にある2つのミーティングルームは、それぞれ趣が異なります。インテリアや照明のコーディネートにもこだわりました。ショールームに並ぶ建築部材やインテリアのサンプルは、いままで以上にラインナップが充実しました。また、キッズルームを新設。パパとママの打ち合わせの間も、お子さまを飽きさせません。インテリアショップ「アンティーク」も移転してきました。アンティーク家具や雑貨を中心に、レトロ調の家具用アクセサリーやパーツがそろいます。注目は、イギリス製のアンティーク家具。古い年代につくられた証のツイスト脚をもつテーブル、バーで使われていたキャビネットなど、貴重なものに出会えます。プレゼントに喜ばれそうな品も扱っています。ぜひ遊びにいらしてくださいね。



ホビーのススメ



お仕事帰り、裸のつきあいはいかが？

今回の推薦人
平藤 麻希子

撮影協力：函館乃木温泉なごみ

hobby 5 : 温泉

だから、おすすめします！
遠くのぜいたく、近くのくつろぎ。

函館は温泉が多いまち。いまでこそ市内の温泉めぐりもしますが、とりわけ温泉好きだったわけではありません。30代になって車の免許を取り、ドライブが楽しくて、大沼や洞爺湖、登別まで遠出するようになったんです。有名な温泉地ですもの、行けば温泉に入りますよね。それですっかり温泉好きに！

思い出に残っているのは定山溪温泉。お湯はもちろん、泊まった旅館の雰囲気やおもてなしもよくて、好きになりました。車にはいつも温泉セットを積んでいて、仕事帰りの日帰り温泉もよくやりますね。「なごみ」は、会社から近くて寄りやすい。ゆったり過ごしてリフレッシュしています。

自慢アイテム：
「アキコセレクション」



ロクシタンのチェリーブロッサムシリーズがお気に入り！

みさお、夏の一読

アンビルド・ドローイング
起こらなかった世界についての物語

三浦 丈典 著 (新潮社)

「アンビルド・ドローイング」とは建築家の空想やアイデアで、実際には建築されずに終わっているスケッチのようなもの。この本は、様々な建築家や芸術家の実現されなかった世界のスケッチを三浦さんが優しい言葉で解説してくれるとてもロマンティックな一冊。三浦丈典さんはとても素敵な発想をする、私が尊敬している建築家。(いつか絶対会いたいと企んでる10人の中の一人です!)言葉使いと視点が独特で、「こんな見方もあるか!」と感動します。建築に詳しくなくても、ワクワクしながら読めるはず。仕事柄、日々、想像力を駆使しているつもりですが、建築とは、ただ建てるだけではなく、人と世界と物語があるということを再度思い知らされます。

法規・予算・構造等あらゆる束縛から解放された100%純粋で自由な建築家達の発想によって、ここ(現実)ではないどこかに旅をしている気持ちになる本です。(専務/森山 操)



あおしま社長の

ことのは

代表取締役 社長 青島 康夫

神棚の魂入れの巻 神様を自宅にお招きする

神棚は、地鎮祭や上棟式と同じく、なくても問題ないものです。ただ、私は、あるほうが良いと考えています。以前、神主さんから聞きました。「最近の子どもは手を合わせる習慣がない。でも、神様を祀ると必ず手を合わせるようになる。それは、心を落ち着かせ、感謝の気持ちを持つ

ことにつながります」と。信仰や願掛けではなく、人としてしたほうが良いことをできる機会になると感じましたね。神棚は、神様が住まわれるお社。リビングのように人が集まる、淋しくない場所に、東か南を向くように設置します。ここに神様の魂をお迎えするのが「魂入れ」です。一般的には、神主さんに拜んでもらったお札を魂とみなします。祀ったら、終生たいせつにすること。それは絶対に守らなければなりません。



株式会社 ビラス www.beus.jp

TEL 0120-56-0188

〒042-0942 函館市柏木町1-12

TEL 0138-56-0555 FAX 0138-56-0777

INTER DÉCO HAUS COZY

b.i.v HOMES

b-maison
-ビー・メゾン-